

コード	301030505
記入日	H24.5.15

課コード	111
課名	健康保険課
課長名	富永 重利
担当者	近藤 聡

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	入院介護者等交通費助成事業
----------	---------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 21 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	4
施策コード	301	施策名称	健康を守りつくる保健・医療の充実	項コード	1
基本事業コード	30103	基本事業名称	地域医療体制の充実	目コード	1
事務事業コード	3010305	事務事業名称	保健衛生総務管理事業費（人件費以外）	細目コード	1193
関連計画		法令・条例規則等	介護者等交通費助成事業実施要綱		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 有川・新魚目・奈良尾・若松地区住民	(対象2)	(対象指標1) 16,410人	(対象指標2)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・利用者 →有川地区 延べ1,141人 463,230円（バス代） →新魚目地区 延べ85人 67,150円（バス代） →奈良尾地区 延べ329人 342,800円（バス代） →若松地区 延べ6人 3,450円（バス代）	① (達成率分析)	***** 利用者数 1,561人	***** 100%	利用者数（実績）÷ 利用予定者数	***** 平成23年度
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
・有川・奈良尾医療センター及び若松・新魚目診療所の無床化に伴い、長崎県上五島病院へ入院する患者の介護者に対して、各医療センター・各診療所の所在地から長崎県上五島病院までの無料乗車券を発行し、介護者の経済的負担（交通費）の軽減を図ることを目的とする。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		① (達成率分析)	***** 無料乗車券発行回数 1,561回	***** 100%	発行枚数÷ 利用回数	***** 平成23年度
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 人	2,399	2,399	858	1,541	1,541				
	②									
成果指標	① 回	2,552	2,552	991	1,561	1,561				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	3,400	3,400	1,823	1,577	1,577				
直接事業費 A	千円	1,300	1,300	423	877	877				
人件費 B	千円	2,100	2,100	1,400	700	700				
内訳	従事職員数	人	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	3,400	3,400	1,823	1,577	1,577			

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	医療再編による無床化に伴い、長崎県上五島病院へ入院機能が集約されたことで、入院患者介護者の交通費負担が増えることから、経済的負担を軽減するため、事業を継続する必要がある。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	利用されている方々の負担は軽減されている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	利用者からの不満等も聞かれないことから、さらに向上させる必要はないと考える。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	利用者も年々増加し、十分な活動結果が得られている。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられますか。	● 代えられる ● 代えられない	理由	入院患者数によるため、費用は流動的である。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2 次 評 価	医療再編計画により、住民負担を余儀なくされる部分の負担軽減策であり、地域医療体制の充実を図るうえで必要であると判断するが、住民への周知を図り公平性を保つこと。
------------------	---------------------------------------------------------------------------------

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。